

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和元年度第2回第2次加東市総合戦略策定推進会議
開催日時	令和元年11月21日(木) 午後1時30分から 午後3時30分まで
開催場所	加東市役所 3階 301会議室
<p>議長の氏名 (座長 庭瀬 敬右 )</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>&lt;出席委員&gt;</p> <p>・三木 達明 ・網屋 浩一 ・日下 知明 ・須貝 正俊 ・中西 光範</p> <p>・ライアン 慶子</p> <p>&lt;欠席委員&gt;</p> <p>・多田 実乗 ・新谷 浩三 ・中野 剛志 ・西村 直香 ・松本 久美子</p>	
<p>説明のため出席した者の職氏名</p> <p>・まちづくり政策部企画政策課課長 下岡 正裕 ・防災課副課長 竹内 喜博</p> <p>・健康福祉部健康課課長 細川 公代 ・都市整備部都市政策課課長 長谷田 克彦</p> <p>・教育振興部教育総務課課長 菅野 勇一 ・教育振興部生涯学習課課長 長田 徹</p> <p>・こども未来部小中一貫教育推進室室長 柴崎 俊之</p> <p>・こども未来部学校教育課参事 後藤 浩美</p> <p>・こども未来部発達サポートセンター課長 片嶋 美紀</p> <p>・病院事業部事務局経営企画課課長 大末 美佳</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>・まちづくり政策部長 小林 勝成</p> <p>・まちづくり政策部まちづくり創造課 課長 藤原 英樹</p> <p>・まちづくり政策部まちづくり創造課 副課長 堅田 美佳</p> <p>・まちづくり政策部まちづくり創造課 主査 上柳 智美</p>	
<p>&lt;議題&gt;</p> <p>・平成30年度第2次加東市総合戦略施策評価について</p> <p>&lt;会議資料&gt;</p> <p>第2次加東市総合戦略、 加東市人口ビジョン 令和元年度第1回第2次加東市総合戦略策定推進会議次第 平成30年度第2次加東市総合戦略施策評価シート 加東市総合戦略策定推進会議設置要綱 加東市総合戦略策定推進会議の位置づけについて【資料1】 1次評価(内部評価)の結果一覧【資料2】 総合戦略における評価の考え方【資料3】</p> <p>&lt;会議の経過&gt;</p> <p>別紙「令和元年度第2回第2次加東市総合戦略策定推進会議」会議の経過のとおり</p>	

令和2年1月8日

座長 庭瀬敬右 

署名人 三木達明 

(別紙)「令和元年度第2回第2次加東市総合戦略策定推進会議」会議の経過

- 1 開会
- 2 座長あいさつ
- 3 議事

平成30年度第2次加東市総合戦略施策評価について

発言者	会議の経過／発言内容
委員	基本目標③加東の未来を担う若い世代の希望実現と親子の絆づくり、施策3かとうならではの教育ブランド構築について、アクションプランに小中一貫校整備事業が上がっているが、入札で建築会社が決まらなかったと聞いている。計画に遅れはないのか？今後計画遂行が可能なのか？
事務局	令和元年度春に入札を行いました但不調となり、今年度の工事には再調整が必要となっておりますが、今回の評価対象となっている平成30年度に関しては実施設計、その他の工事発注に向け順調に経過していました。
委員	形式的なことだが、アクションプランの成果、進捗ともに記載のないものがあり、右側の欄を見ると予算の金額が平成30年度(2018年)は空白、2020年から記入されているので未実施だと判るのだが、もう少し視認性を高める工夫は出来ないか。
事務局	予算がついていない事業や、未実施・開始年度前の事業について、もう少し区別がつきやすいように表現を工夫します。
委員	KPIの基準値の設定はどのようにされているのか。
事務局	今回の総合戦略は平成29年度中の策定となります。その際に直近で数値が分かり、測定ができたものについて基準値として設定しています。平成29年度時点の直近が平成28年度になりますので、平成28年度の数値を記載している項目が多くなっています。その基準値に対してどのように伸ばしていくか、といった設定をしています。
委員	基本目標③加東の未来を担う若い世代の希望実現と親子の絆づくり、施策4教育環境の充実のアクションプラン1加東スタディライフの酷暑のため小学校2会場については実施できなかったとあるのはどういう意味か。
事務局	各小学校で時期をずらして実施しているが、平成30年7月は地区水泳も中止になるほどの酷暑だった。登下校にも危険があるため7月実施予定だった3小学校(2会場)については中止したが、暑さが和らいだ8月末実施予定の小学校では予定どおり実施できた。

委員	基本目標④安全・安心で快適な住みよいまちづくり、施策1より住みよいかとうの推進の設定KPIが0で実績も0であれば平成30年度だけで見れば特に遅れていないように見えるが、アクションプランで△というのは、平成30年度にやるべきことができていないからなのか、将来的に遅れるからなのか。
事務局	単年度で成果の出るものもありますが、5か年の中で一つの成果として挙げるものと、それまでの4か年は数値が0になります。ただ、それに向けての取り組み評価については単年度で行っているの、そちらを評価いただくことになります。
委員	KPIの目標値0に対して結果0であれば取組評価は▲でなくても良いのではないかと。
事務局	公共交通リニューアル作戦の▲について、今年度は交通事業者への要望などを行いましたが、実現に至らなかったということもあり、KPI的に遅れがあったわけではありませんが、これらの成果を踏まえたものになっています。
委員	アクションプランの成果が△になっているのに、右側の改善事項等の欄に何も書かれていない。
事務局	ご指摘のあった改善事項等の欄については追記いたします。
委員	基本目標④安全・安心で快適な住みよいまちづくり、施策2安全・安心で快適なまちづくりのKPIでかかりつけ医をもつ割合について、平成29年度のデータは記載されているが、平成30年度は「－」記載でデータが取れていないということか。
事務局	かかりつけ医をもつ割合は、第二次加東市総合計画策定時の市民アンケートによる数値になっています。アンケートについては総合計画の策定前と中間にする調査が多いので、それまでの間は把握データ無しとなります。
委員	目標KPIに対して何%の達成、各項目についても何%といったように、KPIとアクションプランとを1つにまとめた方が分かりやすいのではないかと。
事務局	基本的な考え方としては、各アクションプランの様々な事業を実現していくことにより、設定したKPIの数値が変わっていくという考え方です。それらを総合的に見て評価いただくことを想定していますので、1つのKPIに1つのアクションプランというように一対で評価いただける構成にはなっていないことをご理解いただければと思います。